

漫湖水鳥・湿地センター

# たよい

2007年3月10日発行

No.44



## 新春野鳥観察会



2月18日(日)、北中城中学校の原戸鉄二郎先生を講師にお招きし、野鳥観察会を行いました。

館内で漫湖に関する映像を見てから、干潟へ出発しました。

干潟につく前に、木に1羽の鳥がとまったので双眼鏡で覗いてみると、イソヒヨドリのメスでした。沖縄では、よく見かける鳥ですが、じっくり見るのは初めて!! という参加者もいました。

干潟では、双眼鏡に加え、望遠鏡も使い観察を行いました。ダイサギ・コサギ・アオサギ・ダイシャクシギ・アカアシシギ・ムナグロ……参加者は、原戸先生に教えてもらったり、図鑑で種類を確かめながら、熱心に観察していました。

また、この日は暖かかったせいか、干潟にはたくさんのヒメヤマトオサガニやミナミトビハゼの姿を見ることができました。

その後、とよみ大橋に移動し観察を続けました。

ミサゴが魚を重そうに持ちながら飛んでいたり、真上をアオサギが横切っていたりと、鳥達のおもしろい行動を発見できた観察会でした。

まだまだ、観察を続けたい参加者が多かったようですが、「もうちょっと!! というところでやめた方が、次回が楽しくなりますよ。」との原戸先生の一言で、センターに戻りました。

センターで、見ることができた鳥を確認し、ヤンバルに暮らす生き物などの写真を見せてもらって、講座を終了しました。



双眼鏡で鳥を探しました



原戸先生に双眼鏡の使い方から教えてもらいました

## 研修報告 ネイチャーゲームリーダー養成講座

2月10～12日、那覇市立森の家みんみんで、「ネイチャーゲームリーダー養成講座」が開催されました。この講座に、センターボランティアの3名が参加しました。どんな講座だったのか、研修報告です!!

### 「 講座に参加して 」

与那嶺 涼子

講座に参加して、もっと自然(木、草、鳥、風など)が好きになった!というのが一番に頭に思い浮かぶ。ゲームをする度に周りがゲーム前と違う世界にいるような気分になる。ネイチャーゲームの狙い通りの変化が私の中に起こったのだと思う。

その変化などを文字や言葉で表す事はできないが、子供、大人、を問わずに自然の事を知って欲しいと思った。

また、この講座を受けさせてもらったセンターに恩返しをネイチャーゲームでしないといけないと思ってい

る。が、情けないことに指導実習で自分の能力がまだまだ低い事ははっきり分かったので、今のままでは参加者を満足させる様な内容のプログラムの立案や進行はできないと断言できる。

受講中も、「自分は、こんなに楽しく分かりやすく堂々と進行できるだろうか?」という思いがいつも頭の中でぐるぐるしていた。

身近な人でゲームをしていき力をつけて、センターの行事の手助けになればと考えている。

### 「 ネイチャーゲームの魅力 」

岩崎 哲也

この度、ネイチャーゲームリーダー養成講座に参加させていただきました。当初は少し緊張気味で、ゲームを始めましょうといきなり言われて戸惑う場面もありましたが、一旦ゲームが始まってみると私自身も全力で楽しんでしまい、ネイチャーゲームの魅力に触れることになりました。主に外でゲームを楽しんだ後は、講義室に戻ってゲームのフィードバックをしながら理論の勉強、というスタイルで3日間のスケジュールをこなしていききました。

まずゲームに参加している間は特に何も考えずに楽しむのですが、次に遊び終わってからのフィードバックをすることで、そのゲームの持つ「ねらい」が明確になり、それを自分の身をもって体感したことに納得します。

さらに理論の学習を組み合わせることで、複数のゲームから構成される「プログラム」全体の大きな目的が見えてきて、また驚き、納得という、3ステップの発見がある講座でした。この展開の仕方は、ネイチャーゲームのみに限らず、プレゼンテーションなど人に何かを伝えたりする際にも活用できるので、これからの社会に出て行く上での有用なスキルを身につけることが出来たと思います。また県外から参加している方や社会人の参加者なども多く、普段ではあまり知り合うことの出来ないような人たちとネイチャーゲームや自然を通して交流することで、新たな視野を広げることも出来ました。そのような形で過ごした3日間、私にとって大変有意義な時間を過ごすことが出来たと思います。

### 「 ネイチャーゲームリーダー研修会に参加して 」

天野 正晴

2月10日から12日までの三日間のリーダー講習会。その中で様々な経験をさせてもらいました。自分自身がネイチャーゲームを指導するという立場になると、自分が楽しむことも重要であり、その中で相手のペースで行わなければならないということで、とても困難さを感じました。昨年、こどもの日企画として行ったネイチャーゲームでは、大人と子ども両方の参加者がおり、どちらのレベルに合わせて行えばよいのか?また子どもを飽きさせないためにはどうすればよいのか?という疑問が残っていました。今回の講習会でもそのことを講師の方に聞いてみましたが、やはり難しいとのことでしたが、自分自身が楽しみ、また相手のペースで行い、さらには相手の言っていることに耳を傾けて、その話を発展させてあげることができたらいいのではないかといいことでした。もちろんこれは、誰に対して行っても同じことなのですが、子どもがいるときは特にゲームの順番とか、話を長くしない、等の細かい気配りが必要であるのだと、改めて実感しました。センターで、もし、またネイチャーゲームを行うとしたら、やはり子ども達の参加が多くなると思われるので、そういったことを考えつつ実践できたら、面白くなるのではないかといいと思います。

また自然の中で遊ぶからといって、動植物の名前を知らなくても一緒にできるのがこのネイチャーゲームであって、知っている人が教えればよいという関係が今回の講習会でもありました。リーダーだから自然に詳しくなければいけないというものではなく、教える、教えられる、の関係ではないのが、また面白さの一つなのではないでしょうか。参加者全員が先生であって、生徒であって、自然が大きな教科書であるのではないかと今回ネイチャーゲームを体験して、感じました。長いようで短い三日間でしたが、今回の経験をこれからのボランティアに活かせたらよいと思っています。





# 漫湖水鳥かわら版 44

～ 2月 あれ？少ない・・・ ～

2月	羽数	先月との比較
ダイサギ	9	
チュウサギ	6	
コサギ	7	
アオサギ	26	
クロツラヘラサギ	2	
オナガガモ	26	
ミサゴ	4	
ハヤブサ	1	
バン	2	
ムナグロ	35	
ダイゼン	26	
アカアシシギ	16	
コアオアシシギ	1	
アオアシシギ	60	
キアシシギ	1	
イソシギ	11	
オオソリハシシギ	1	
ダイシャクシギ	13	
ホウロクシギ	1	
チュウシャクシギ	12	
タシギ	4	
ズグロカモメ	1	
カワセミ	2	
ハクセキレイ	6	
合計	273	

## 2月 ムナグロ・・・

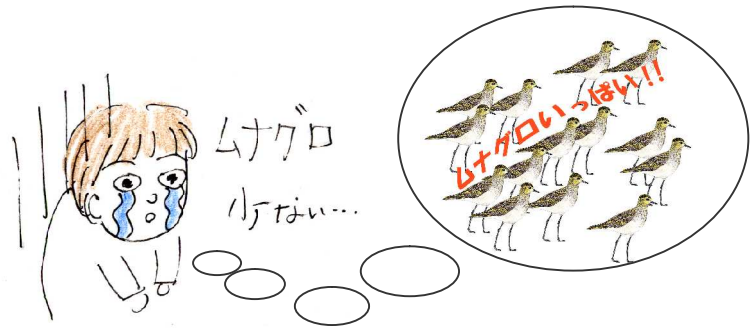
昨年2月、"ムナグロいっぱい!!"と干潟に集まったムナグロをみて、喜んでいました。

しかし、今年は・・・"ムナグロが少ない・・・"

感覚的にも少ないとは思っていたのですが、集計してみると2月は最大で35羽でした。1月の方が数が多かったのですが、それでも92羽でした。昨年の2月は209羽、一昨年は1月の203羽が最大でした。

今年は、100羽にもとどかず・・・

来年は、いっぱい来てください!! ムナグロさぁん!!



## 2月21日から クロツラヘラサギ

今シーズンは、あまり漫湖に来なかったクロツラヘラサギですが、2月20日を過ぎた頃から毎日のように漫湖で姿を見るようになりました。

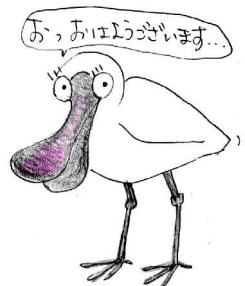
朝、出勤して、2羽のクロツラヘラサギを見つけると、ほっとするセンター職員でした。



## 2月11日 ズグロカモメ

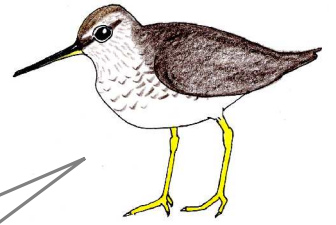
今シーズンは、ズグロカモメが毎日のように観察できましたが、11日を最後に、ぱったりと姿をみかけなくなりました。

冬も終わりかな？





♪♪ ようこそ ♪♪  
漫湖水鳥・湿地センターへ



団体利用

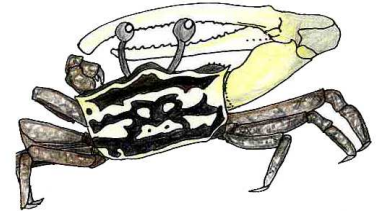
2月	
学童・児童クラブ	
まある自然教室	那覇市
北丘小学校理科クラブ	南風原町
小学校	
小禄南小学校 3年生	那覇市
慶留間小学校	座間味村
松島小学校 4年生	那覇市
垣花小学校 5年生	那覇市
高等学校	
小禄高等学校	那覇市
その他	
豊見城市教育委員会	豊見城市

総入館者数  
76,369名

2月の入館者数  
1,286名  
(うち団体 332名)



松島小学校のみなさんは、漫湖についていろいろ調べました。



慶留間小学校のみなさん。  
同じラムサール条約湿地である「慶良間諸島海域」と「漫湖」を比較して、観察しました。

\*\*\* 編集後記 \*\*\*

今年度もあとわずかになりました。漫湖に飛来してきた水鳥たちも旅立ちなのが、少なくなってきたように感じます。来年もまた水鳥たちが漫湖を訪れることに期待したいです。

皆様、18年度もお世話になりました。

来年度も漫湖水鳥・湿地センターをよろしくお願いします。



神山 亮

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会 (環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日 (月曜日が祝日の場合・翌日) 年末年始 (12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko\_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http:// www.geocities.jp/manko\_mizudori/